

平成26・27年度 国立教育政策研究所指定 『魅力ある学校づくり調査研究事業』

ブロック協議会

**すべての児童生徒の
「心の居場所」と「絆づくりの場」となる
魅力ある学校づくり**

岐阜県海津市 日新中学校区

《拠点校》 海津市立日新中学校

《連携校》 海津市立高須小学校

海津市立東江小学校

海津市立西江小学校

海津市立吉里小学校

海津市立大江小学校

「魅力ある学校」とは

居場所づくり

すべての児童生徒の

「心の居場所」となる学校

絆づくり

すべての児童生徒の

「絆づくりの場」となる学校

安心安全な学校づくり

場と機会の設定

児童生徒の意識調査（年3回）

PDCA
サイクル

取組が**すべての児童生徒に**
意味あるものとなっているか
定期的に**点検し、工夫する。**

日新中学校区の児童生徒の実態から

- 中学校 1 校と小学校 5 校（小規模校）
- ◎ 温和で素直な児童生徒
- ◎ 地域行事や学校の伝統を大切にする

- ▲ 自分で考えて行動しよう
- ▲ 仲間と話し合って向上しよう
- ▲ 自ら学力を高めよう

**意欲が
不十分**

中学校入学後 表面化

日新中学校区の課題・目標・取組

【課題】

授業や特別活動等に主体的に取り組む姿が増えたが、学力や学習意欲の差が大きく、学級等への所属意識が低い児童生徒がいる。

【目標】

教科の授業や特別活動で主体的に取り組める場を設け、自ら学んだり自主的に活動したりして、互いによさを認め合い、高め合う児童生徒を育成する。

【取組】

分かる・できる授業、児童会及び生徒会活動、小・中連携及び小・小連携を通じ、協働して成し遂げる喜びや楽しさ、責任を果たす満足感を実感させる。

P D C A サイクルで実践した3つの取組

「心の居場所」と「絆づくりの場」となる
魅力ある学校づくりに有効だったこと



授業づくり

分かる・できる
喜びを感じ、達成感や満足感を
味わう



集団づくり

活動を通して認め合い、所属意識と自己有用感をもつ



連携づくり

小学校から中学校へ、指導を積み上げる

「授業づくり」の実践

共通した学習活動の充実

海津市の「授業スタンダード」とは・・・

学ぼうとする**気持ち**、**学び方**、学習する**習慣**を身に付け、**自ら学ぶ**ことのできる児童生徒を育成するための指導の在り方

誰でも・いつでも・どこでも、
同様・同レベルの教え方・学び方ができる

児童生徒が意味やよさを理解して自ら学ぶ

「授業づくり」の実践

共通した学習活動の充実

安心して学べる授業は「心の居場所」

6校で大切さを共有して指導にあたる事項

- 聞く、話すなどの基本的な学習姿勢
- 見通しのある授業の進め方
- 挙手をする際のハンドサイン
- 小集団やペア交流等の話合いの仕方
- 教科系の活動内容

「授業づくり」の実践

共通した学習活動の充実

「授業姿勢のスタンダード」

- ①聞く姿勢：話し手に体を向ける
- ②話す姿勢：聞き手が見える位置で話す
- ③挨拶：学習環境を整え気持ちを切り替え
- ④挙手：ハンドサインを使う
- ⑤授業前学習：教科系の進行と教師の支援

「授業展開のスタンダード」

① 10分以内の課題提示

②きちんと教える「前半学習」

③つまずきへの方針を立てる

「学習状況点検」（中間チェック）

④全員が目標達成に向かう「後半学習」

⑤振り返り次につなぐ「まとめと評価」

共通した学習活動の充実<実践例：大江小学校>

○聞く、話すなどの基本的な学習姿勢

大江小学校の話し方・聞き方・話し合い方のスタンダード

めざせ話し方名人	めざせ聞き方名人	めざせ話し合い方名人
● 「はい」とへんじをして話す。	● 手ひざで聞く。	● 話し合いにすすんでさんかする。
● みんなを見て話す。	● せずじピンで聞く。	● 耳に手をつけてあげる。
● みんなを見ることが出来る所に立って話す。	● 話し手を見て(おへソを話し手に向けて)聞く。目ピカで聞く。	● お話したあと「どうですか。」とたずねる。
● ていねいに、さいごまではっきりと話す。	● 足ピタで聞く。	● ドンドンきよしゆする。
● 大きな声で話す。	● ドンドンきよしゆできるように聞く。	
● ドンドンきよしゆしてはっぴようする。		
● 聞く人にたしかめながら話す。	● はんのうして聞く。	

こういう姿で授業に向かうといいんだ！

「話し方・聞き方・話し合い方のスタンダード」を教室に掲示

共通した学習活動の充実<実践例：大江小学校>

○聞く、話すなどの基本的な学習姿勢

みんなで
授業姿勢を
確かめよう！

「話し方・聞き方・話し合い方」
ができたならシールを貼る



共通した学習活動の充実<実践例：高須小学校>

○挙手をする際のハンドサイン

どんなハンドサインで
仲間に反応しますか？



授業中はどんな
姿勢で取り組む
といいかな？

学年部の集会を行い、発達段階に合わせた指導

共通した学習活動の充実<実践例：日新中学校>

○挙手をする際のハンドサイン



Aさんの意見
とは違うね！

Bさんの意見を
さらに深める発
言だね！

Cさんを助けて
くれるかな。

ハンドサインによる
発言の関連付け

共通した学習活動の充実<実践例：日新中学校>

○挙手をする際のハンドサイン

分かるまで
みんなで
頑張ろう！


教え合いの時間
をください！

自分たちで授業を創り上げる



「授業づくり」の実践

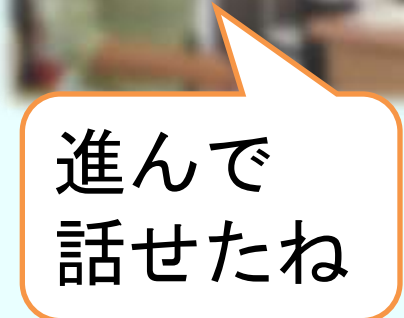
共通した学習活動の充実




Dさんの説明
よく分かるね



仲間の声に
応えているね



進んで
話せたね



教師の価値付けによる
達成感・満足感の積み重ね

「集団づくり」の実践

認め合う活動の充実

「よさ見つけ」の場と広め方の工夫

場：帰りの会で日常的に 集会や行事の後

班 学級 学年 他学年 全校

広め方：直接相手に カード 校内放送

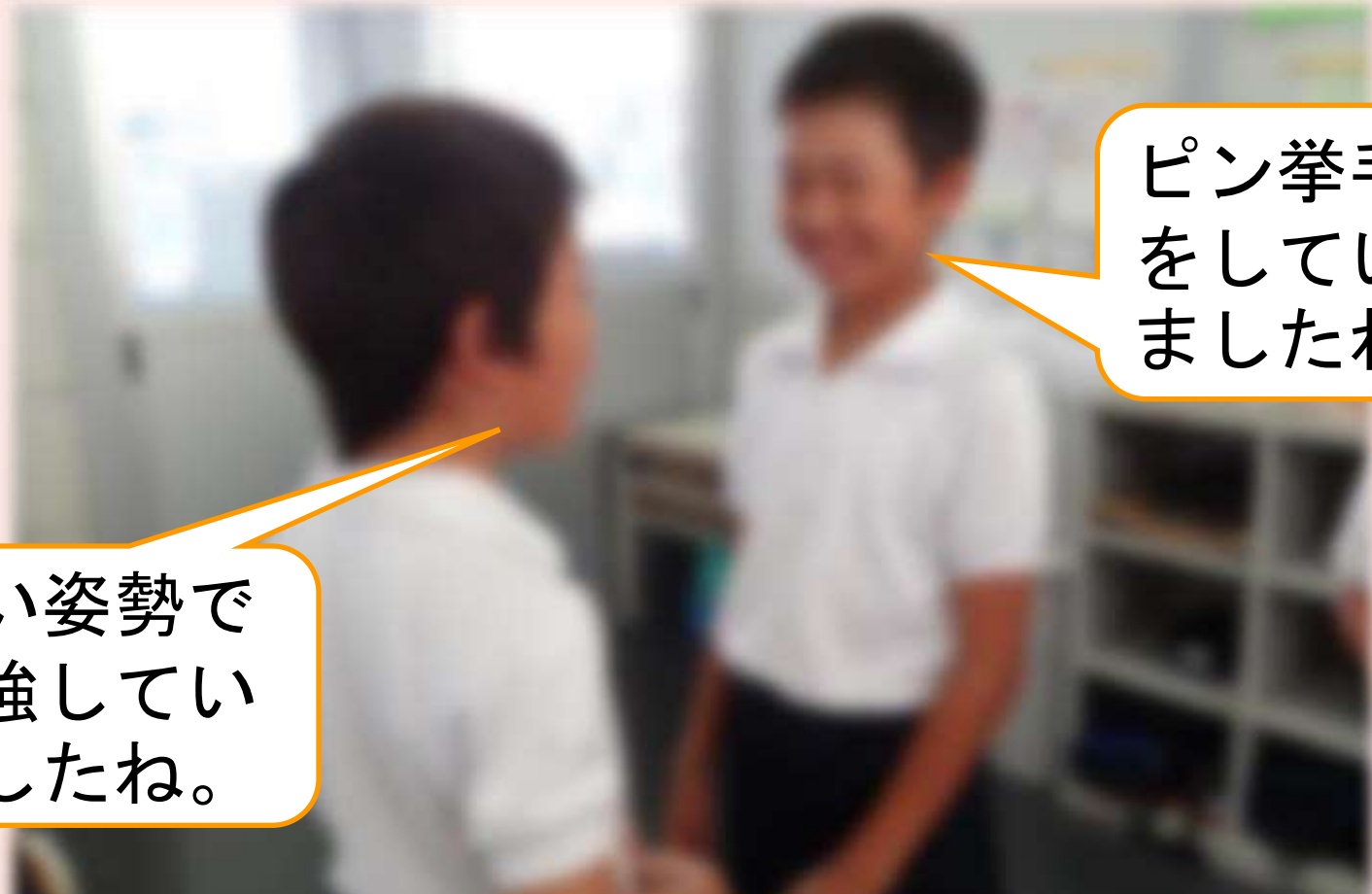
教室内に掲示 校内掲示

視点ごとに色分けしたカード

教師が価値付け方の手本を示す

認め合う活動の充実

<実践例：吉里小学校>



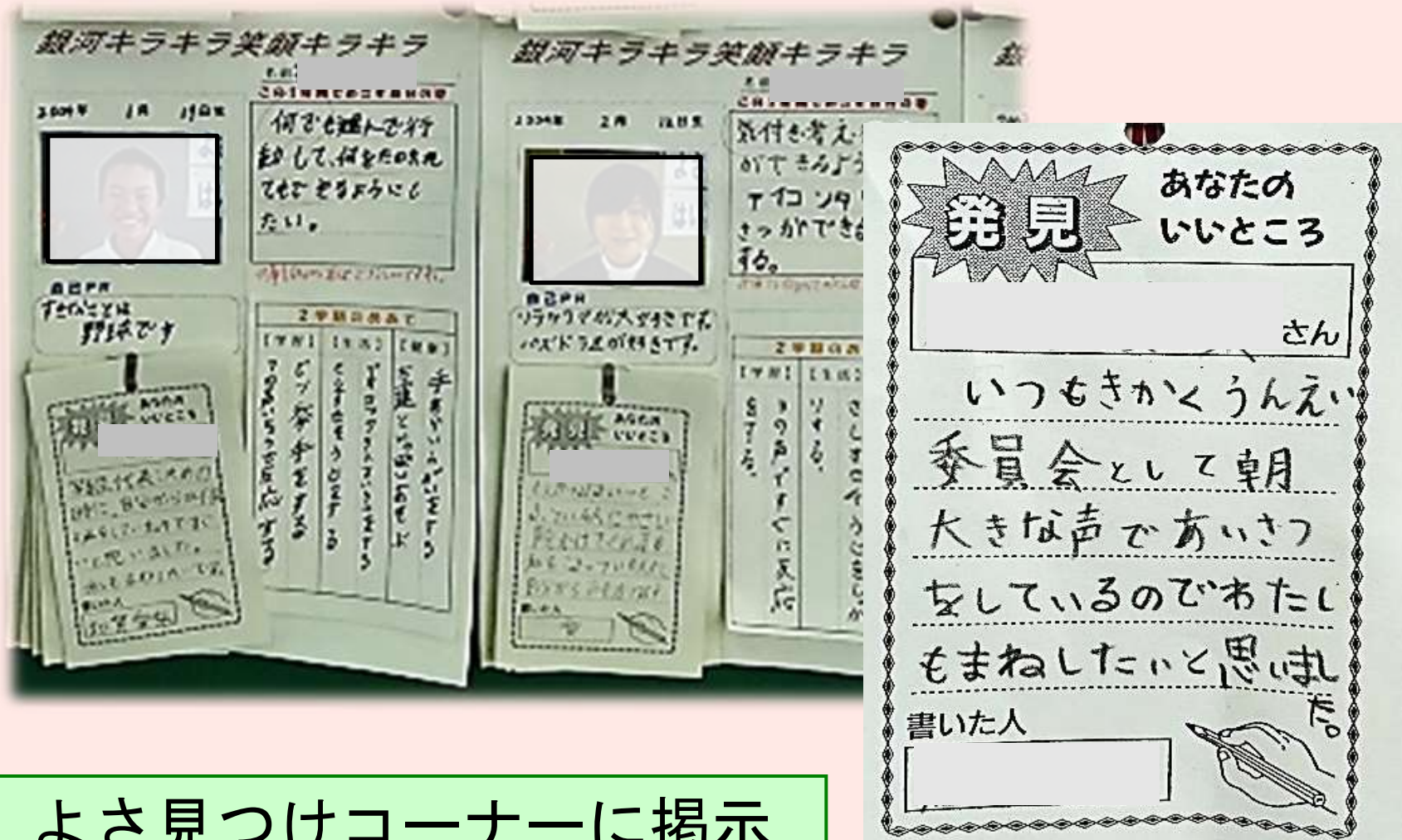
よい姿勢で
勉強して
いましたね。

ピン拳手
をして
いましたね。

毎日の帰りの会で、互いのよさを直接伝え合う

認め合う活動の充実

<実践例：吉里小学校>



よさ見つけコーナーに掲示

認め合う活動の充実

＜実践例：吉里小学校＞



学校ぐるみでよさを見つけて掲示

「集団づくり」の実践

認め合う活動の充実

もとなつた思いを引き出し価値付ける

- どうして・・・したの？
- どうしてよいと思ったの？
- どんなことをまねしたい？



- こんな気持ちでやったよ！
- ○○さんの気持ちが分かる。
- △△さんを見習おう！



Bさんのこの気持ち
が素晴らしいね！

Aさんは
こんな思いで
行動したんだよ！



仲間の思いに目を向けた「よいこと見つけ」

「集団づくり」の実践

異学年集団での活動の充実

縦割り活動、児童会・生徒会活動

- 上級生が行事や交流会等の運営
- 下級生には上級生の姿や思いに触れる。
- 日常生活の向上を目指した活動
- 粘り強く仲間に働きかける姿を認める。
- 自分たちで学校生活をつくる意識

上級生が「自己有用感」味わえる活動

異学年集団での活動の充実<実践例：高須小学校>



ふれあいリーダーとして、
～をがんばります

6年生が企画・運営する「ふれあい活動」

異学年集団での活動の充実<実践例：高須小学校>

次の遊びは
何がいいですか？



6年生が中心となって、みんなで決める

異学年集団での活動の充実<実践例：高須小学校>



計画書の提出 担当の先生からの価値付け

異学年集団での活動の充実<実践例：東江小学校>

楽しかった！
教えてくれて
ありがとう！



足を曲げて
飛ぶといいよ

縦割り班での長縄大会とその後の交流

「連携づくり」の実践

共通理解の促進

授業交流

- 各校の研究授業を相互参観し、聞く、話すなどの児童生徒の姿や認め合う活動を学ぶ。

担当者会

- 各校の授業スタンダード等の状況を交流し、今後の取組について検討する。
- 各校の事業担当者で話し合った内容を各校の職員に伝え、共通理解を図る。
- 共通理解したことを、各校の実態に合わせて実践する。

「連携づくり」の実践

意識調査の分析の充実

() 年 () 組 () 番 氏名 ()

現在の学校生活について、あなたはどのように感じていますか。当てはまるものを右の1から4の中から1つずつ選び、その理由を必ず記入してください。

ア 学校が楽しい

理由

イ みんなで何かをするのは楽しい

理由

ウ 授業に主体的に取り組んでいる

理由

回答の理由を問う

回答の理由を記述



児童生徒の意識



学年の傾向や問題点



有効な指導方法

「連携づくり」の実践

中1ギャップへの対応

中学校入学説明会の活用



中学校の授業は
私たち以上だ！

中学生の合唱は
すごいなあ！



中学校説明会の活用

<実践例：西江小学校・大江小学校>



中学校入学に向けた
目標を決め、達成度
を確認し合う取組。



学習規律の大切さを
伝え、全校を向上さ
せようとする取組。

意識調査の数値の変化

意識調査の項目 ア～エ・・・学校生活や授業に関わる項目
 オ～ク・・・いじめに直接関わる項目

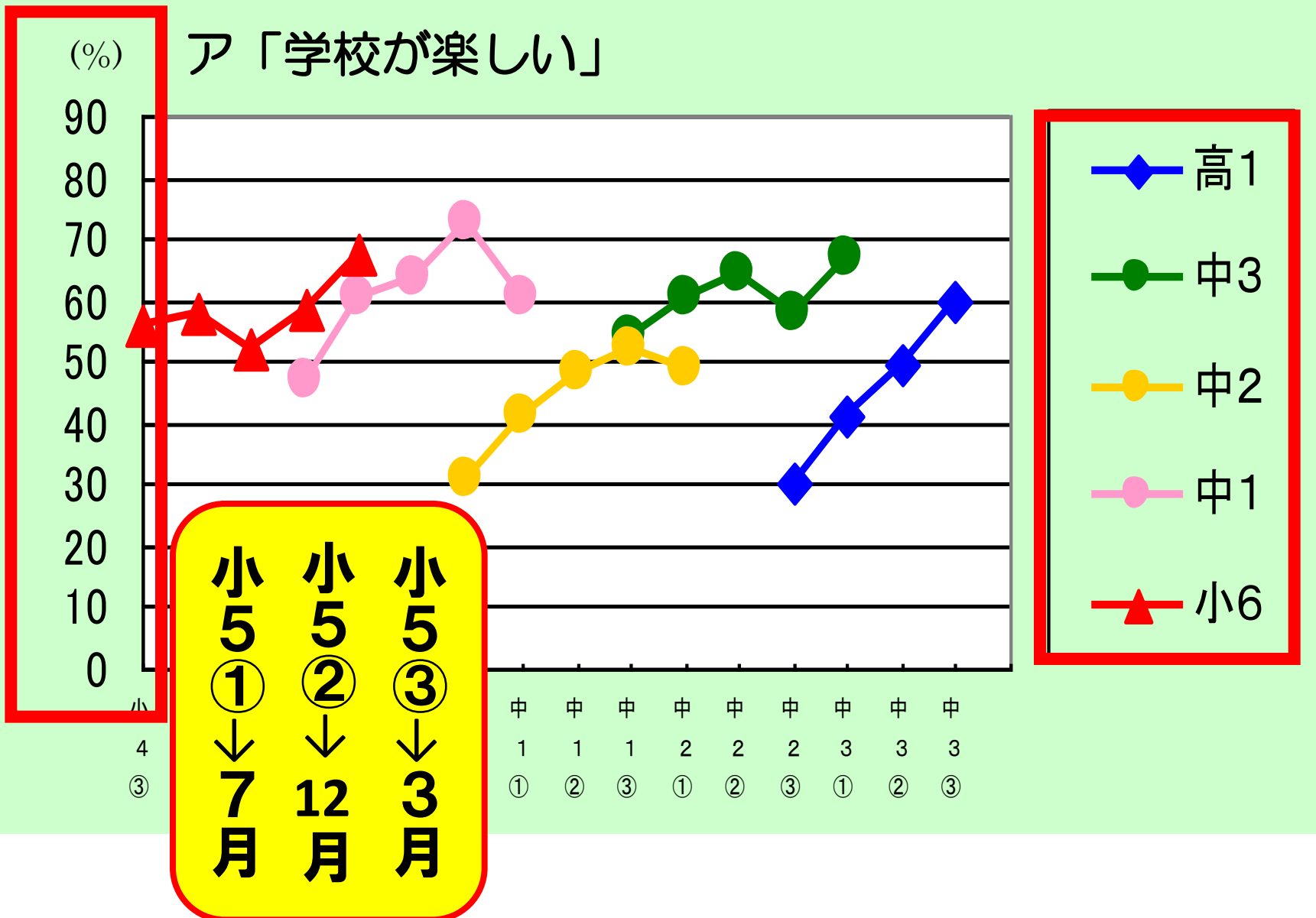
ア「学校が楽しい」

ア 学校が楽しい
イ みんなで何かするのは楽しい
ウ 授業に主体的に取り組んでいる
エ 授業がよく分かる

キ「たたいたり、けったり、強く押したりした(暴力をふるった)」

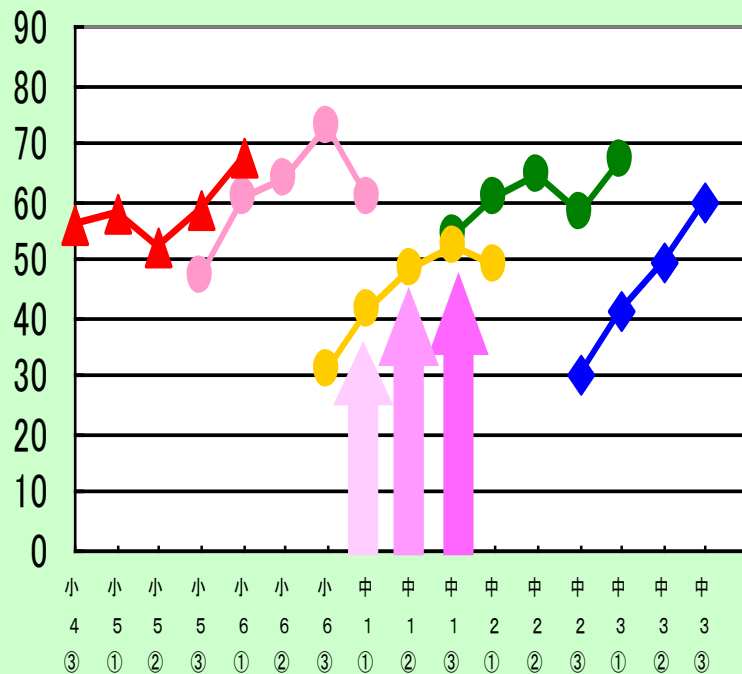
ク「暴力ではないが、いじわるをしたり、イヤな思いをさせたりした」

意識調査の数値の変化

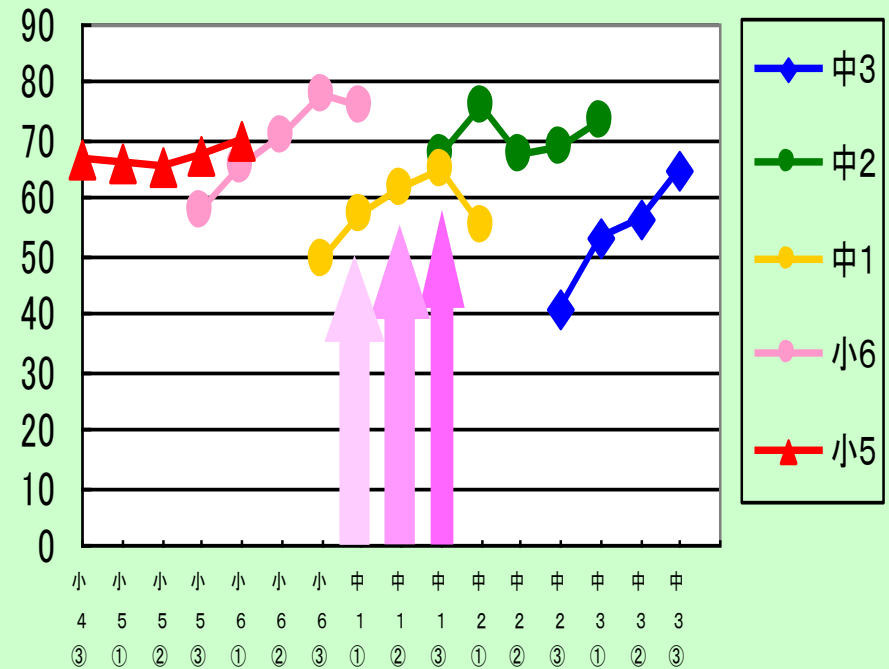


意識調査の数値の変化

(%) ア「学校が楽しい」



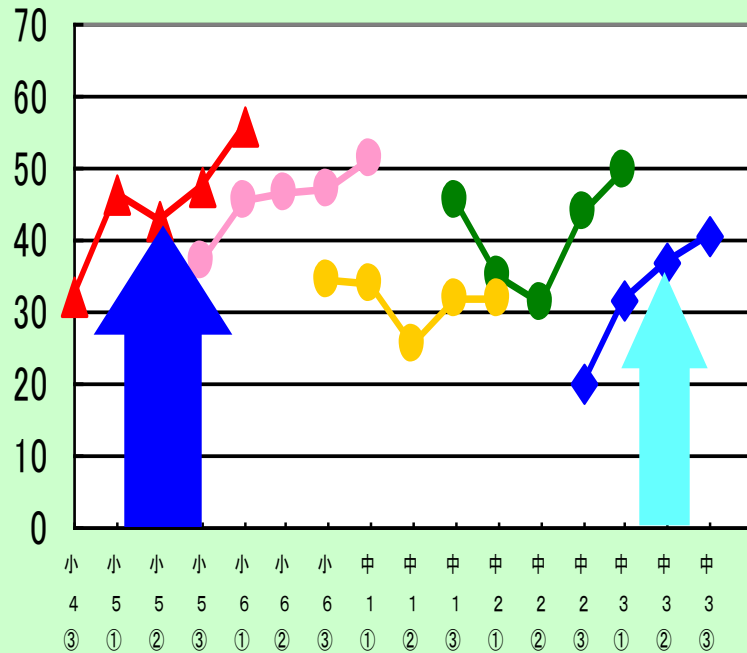
(%) イ「みんなと何かをするのは楽しい」



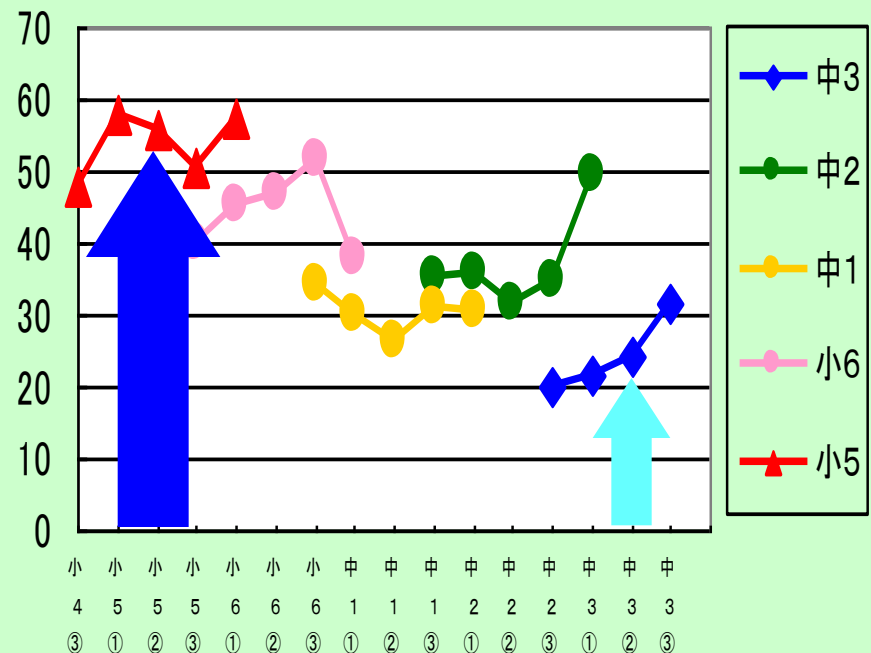
1 学期→2 学期→3 学期と数値が上昇
 集団づくりのサイクル

意識調査の数値の変化

(%) ウ「授業に主体的に取り組んでいる」



(%) エ「授業がよくわかる」



下の学年ほど数値が上昇
「分かる・できる」授業づくりの成果

成果と課題・・・これまでの実践を通して

- 意識調査の分析をもとに、PDCAサイクルで見直しや改善を図って実践することができた。
- 小・小連携、小・中連携を図ることで、児童生徒が自信をもって活動できるようになった。
- 事業後の実践の継続と改善、そして海津市全体への拡大を図っていく。